

1級建築施工管理技士試験合格！

工事部 先間 裕人



1級建築施工管理技士試験に合格しました。これからも精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

工事部 やなぎわたり 柳渡 蓮



元気よくたくさん学び成長できる一年にしたいと思います。 よろしくお願ひします。

工事部 もや りょうすけ 征矢 亮輔



早く戦力になれるよう頑張ります。

- 4月1日 入社式
- 4月29日 年次計画発表会
- 6月6日 安全大会
- 7月12日 ボウリング大会
- 8月1日 納涼祭
- 9月1日 防災訓練
- 10月4～5日 社員旅行
- 10月31日 創立記念式典
- 12月6日 忘年会
- 12月26日 納会

社内イベント情報



竣工だより

天満4丁目マンション新築工事



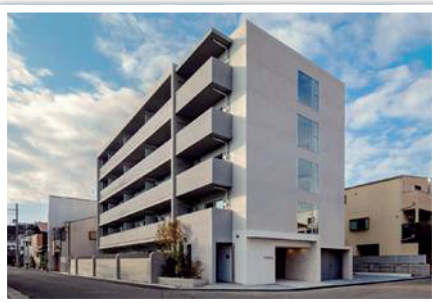
設計者：(株)テクトスタジオ
完成日：令和6年12月26日
構造・規模：RC造・8階
施工床面積：約197.43㎡

神戸PI住宅耐震改修工事



設計者：三菱電機ライフサービス(株)一級建築事務所
完成日：令和7年2月28日
構造・規模：RC造・14階
施工床面積：70,866.59㎡

estageo北田辺新築工事



設計者：(株)ジオプランニング
完成日：令和7年1月31日
構造・規模：RC造・5階
施工床面積：約394.93㎡

進行中現場

- 三津屋小学校東校舎棟他増築その他工事
- 赤川住宅1号館建設工事
- 庭窪コミュニティセンター整備工事
- (仮称) 池田市石橋1丁目II共同住宅新築工事
- S社事務所・倉庫新築計画
- Y株式会社大阪営業所新築工事
- 仮称 島之内2丁目マンション新築工事
- estageo針中野新築工事

編集後記

MORINAGAPRESS第29号編集にあたり、ご協力並びにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。
いよいよ2025年4月の国際博覧会（大阪・関西万博）の開催まであと数日となりました。今回のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」となっておりその実現に向け、重要なキーワードとして挙げられているのが「共創」です。プログラムは大きく3つあるという事ですが、そのうちの1つに「Co-Design Challenge」というのが挙げられています。これは、万博を機に、あらためて「これからの日本の暮らし」を考え、様々な人達との共創により新しいものを生み出していく取り組みという事で、万博という機会を活用し、社会課題の解決や未来社会の実現を目指そうという事ようです。
弊社でも新社長を中心に若手中堅メンバーで「未来共創会議」という今後の弊社の在り方や問題提起を共有する場があり今回の万博と通ずるものを感じました。20年ぶりの日本開催となる大阪・関西万博。実際に行き、さまざまな体験をしたいと思います。（編集担当:営業部）



Instagram
QRコード



HP
QRコード



ブログ
QRコード

森長工務店の旬の情報をお届けします。



社長就任 記念式典

巻頭メッセージ P.1

社長就任インタビュー P.2
3

お客様訪問・トビックス P.3

進行中現場・竣工だより・イベント情報、他 P.4

次世代を担う人たちに

社長というものは、従業員が一人いれば一人の心配を背負っていくものです。ですから、心配で夜も眠れないというときもあります。眠れないからつらい、苦しい。しかし、そのように心配するのが社長の仕事なのです。そのために死んでも、それは早く言えば名誉の戦死ではないか、そう考えるとところに社長としての生きがいも生まれてきます。

（松下幸之助）

私が社長に就任したのは平成十年。それまでバブル崩壊後の景気を支えるために増額されていた公共工事が、削減に転じた時期でした。公共建設投資はそれから十年で半分になり、特に当社が主力にしていた公共建築投資は30パーセントにまで落ち込みました。建設会社の株価は大半が百円を下回り、倒産も頻発していました。倒産とまではいかなくても、リストラをしていない会社はほとんどないといった有様だったのです。

仕事がないのは本当につらいものです。眠れぬ夜も度々です。そんな時に、心の支えとなったのは、冒頭の松下幸之助の言葉でした。「心配するのが社長の仕事」「それで死んでも名誉の戦死」。そう思い決めれば、耐える力が湧いてくるのです。人間が苦しむのは、「楽になりたい、逃げたい」と思うからであって、決心覚悟を決めれば、そこから生命力は湧いてくるのです。

この度、私は社長を辞して次の世代にバトンを渡しました。経営環境の変化はこれまでとは比較にならないくらい速くなっており、私の時代とは違った困難があること

でしょう。そんな時に心がけて欲しいのは、その困難から逃げようしないこと。楽になりたいとそこを逃げて、その困難は形を変えて、そしてさらに大きくなって必ず追いかけてきます。困難を受け容れて正面から取り組み、それは単なる苦労ではなくなります。皆さんを鍛え、多くの学びを与えてくれて、次のステップへの試練となるのです。楽に仕合せにはなれません。自分に与えられた役割や使命を果たそうとすることによって、初めて仕合せは与えられるものなのです。

末筆ながら、これまで支えていただいたお客様、協力業者の皆さん、そして私の心配を分かち合ってくれた社員の皆さんに心から感謝申し上げて、社長退任のご挨拶とさせていただきます。



取締役会長 森長 敬

お客様訪問



株式会社三和綜合コンサル
代表取締役社長 今井 信宏 様

弊社は昭和三十九年に創業した用地補償の総合コンサルタントです。日本の国土を支える「縁の下の力持ち」としての責任感と使命感をモットーに、社会の産業や生活の基盤整備事業を支えて参りました。今回、かねてから念願の新社屋建設プロジェクトに着手し、ご縁あつて森長工務店さんと出会いました。

今回のプロジェクトは、社員全員が当時の社屋（旧社屋）より良い職場環境にしたいという思いが詰まったものでした。当初は、社員全員の貴重な意見を集め、技術顧問に要望事項をまとめてもらい、願の配置平面図（案）ができ、森長工務店さんに設計をお願いしました。設計のご担当からは、法令や構造等の関係、平面計画の提案の他、立面、設備、仕上げ

等の様々なご提案がありました。その内容は社員の要望や弊社旧社屋の現状分析結果等を鑑み、しっかりと考え込まれたものでした。私たちへの説明もカタログ、図面や計算書、サンプル、BIMを使った3Dを用いて分かりやすく、イメージをしっかりと持てたので、数段階上の協議ができ、手応えのある設計図書が完成しました。いよいよ施工です。設計意図を工事のご担当に引き継がれ、どんな形になっていきました。工事中は定期打合が現場事務所で行われ、工事現場や周辺の状況、予定等を丁寧に説明いただきました。コロナ禍による影響で予定していた材料がない等のトラブルが多くあったものの、監督さん達がしっかりと代替案を提示



4代目社長就任インタビュー



2025年3月1日を持ちまして、4代目代表取締役役に森長寛（以下：社長、取締役会長には前代表の森長敬（以下：会長）が就任致しました。今号では、新しく就任された社長に決意や想いについてインタビューさせていただきます。

3月1日に社長に就任され、同日にザ・ガーデン・オリエンタル大阪でご親族や森栄会（当社の施工協力会）の役員の方々、当社社員合計約80名出席のもと社長就任式と就任祝賀会が行われました。大きな節目となるイベントだったと思います。が、まずは就任式の感想を伺いたいと思います。

社長 社長就任式というのは、これまで会長がされてきた事と、これから私が取り組んでいく事、過去から未来までの会社の歩みを再確認できたイベントだと思います。創業期から振り返る機会は滅多にないので、私だけでなく社員の方々にも良い機会だったと思います。

祝賀会では、それぞれのテーブルを回って挨拶をされましたが、どんな言葉を頂きましたか。

社長 がんばってくださいという応援メッセージが多かったです。また、ご参加頂いた森栄会の役員の方々には経営者の方が多かったため、「これでようやく社長の大変さがわかちあえるね」という言葉も頂きました。そして、これまで協力会社様との関係性を大切にされてきた会長やこれまでの諸先輩方、直接関係性を築いてこられた社員の皆さんに感謝の思いを改めて抱きました。

援メッセージが多かったです。また、ご参加頂いた森栄会の役員の方々には経営者の方が多かったため、「これでようやく社長の大変さがわかちあえるね」という言葉も頂きました。そして、これまで協力会社様との関係性を大切にされてきた会長やこれまでの諸先輩方、直接関係性を築いてこられた社員の皆さんに感謝の思いを改めて抱きました。

で諸先輩方が取り組まれてきたことに感謝しています。今後は、会長を中心にこれまで築き上げられてきた基盤をフル活用して、もっとと飛躍したいと考えています。受注環境としては、急激なインフレや人手不足など厳しい状況ではありますが、その反面、技術の進歩や社会の変化に伴い、様々な事に挑戦しやすい時代だと思っています。ピンチはチャンスという言葉があるように、AI分野やロボット分野、DXなど様々な技術の進歩は成長のチャンスだと感じています。また、人手不足の時代だからこそ、良い人材を仲間にするには大きな競争優位を得ることになります。



「応援される会社」という言葉、素敵ですね。

昨年度は、会社の15年後の未来を考える未来共創会議にて、新たなビジョンとして「お客様の夢に寄り添い、笑顔とワクワクが止まらない会社」を掲げられました。改めてこのビジョンに込められた想いや掲げるに至った背景を伺いたいです。

就任式では、社長の決意表明もされましたが、改めてこれからどんな会社を目指したいのか伺いたいと思います。



社長 これまで会長をはじめ諸先輩方のおかげもあり、現在の会社の状況として財務基盤も盤石で組織の状態も良いと思います。もちろん、人手不足という日本社会全体での課題を当社も同じく抱えておりますが、社員に関しても本当に良い方々に恵まれています。改めて、これま

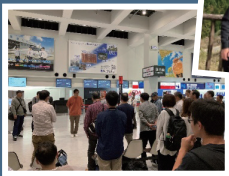


社員の方はもちろんの事、お客様、ビジネスパートナー、協力会社様を含め、どれだけでも皆さんの方々に当社の事を応援して頂けるか、ファンとして応援されるかが、今後飛躍する上でも重要となります。そのため、より多くの方々に応援される会社をさらに目指していきたいと思ひます。

トピックス

～10月26日（土）・27日（日）森栄会・森長工務店合同で社員旅行開催 ち大分・熊本～

毎年恒例の社員旅行ですが、昨年コロナ明け4年ぶりに開催され今年も無事開催する事ができました。今年は総勢62名で飛行機に乗り大分と熊本に行ってきました。1日目は、大分県で別府地獄めぐりと大分県美術館の2班に分かれ見学し、その後湯布院の旅館に宿泊しました。



2日目は、阿蘇の大草原を見学し最後は熊本地震からの復興シンボルである新阿蘇大橋を見学してきました。

森栄会の方々や社員同士が気兼ね無くワイワイした雰囲気でも過ごせる社員旅行は、仕事以外でのコミュニケーションを持てる大切な場としても毎年楽しいイベントとなっています。



もしつかりとお客様に寄り添っていく、そんな未来永いお付き合いを大事にさせて頂いてきました。

また、私たち建築業は、完成した商品やサービスを提供するのではなく、それを作り上げていく過程をお客様と共有するという特徴もあります。お客様は建築に対して、多くの時間とコストを、大変なご苦労と決心を経て投資されます。お客様のそんな大事な場面に立ち会わせていただいているからこそ、建築の過程を、お客様が未来へと向かうためのワクワクする体験にしていくな必要があると考えています。

今回新しく掲げたビジョンには、これまで大切にしてきた建てた後のことのみならず、建てるまでの工程から、当社がお客様の夢を実現するパートナーとして寄り添っていきたいという想いを込めました。

建物づくりを通して、お客様をはじめ関わる方々とワクワクしたいですね。そして、ワクワクする未来を次世代や子供たちに遺す会社を共に目指していきましょう。

